

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あります。60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。平成26年10月から高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(40歳代女性)あり、症状は鼠径部リンパ節腫脹で推定感染経路は性的接触です。梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.51(62例)で、前週 1.34(55例)から増加し過去5年平均値を上回っています。全国的にも患者報告数が増加しており、例年より多い状態が続いています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は2.18(148例)となり、前週 0.85(58例)に比べ約2.6倍に増加し、流行の指標である1.00を上回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:ジアルジア症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	2.18	148
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.22	255
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	62
	③ 伝染性紅斑	0.80	33
	④ 流行性耳下腺炎	0.61	25
	⑤ RSウイルス感染症	0.51	21
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

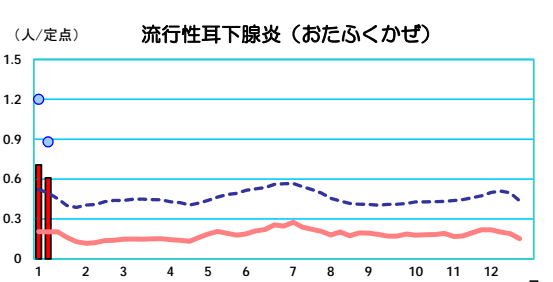
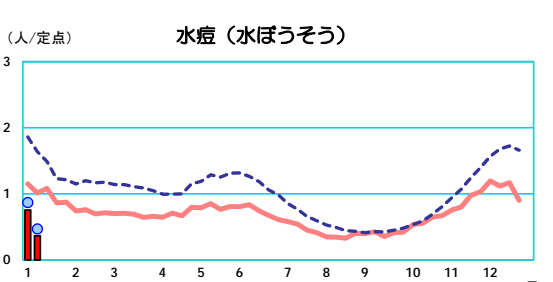
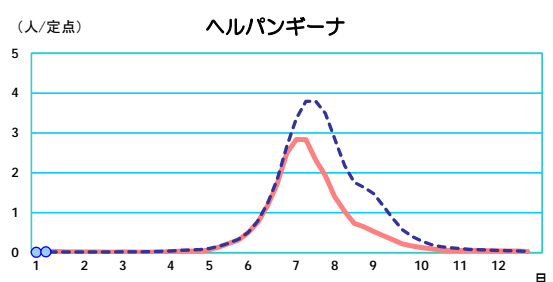
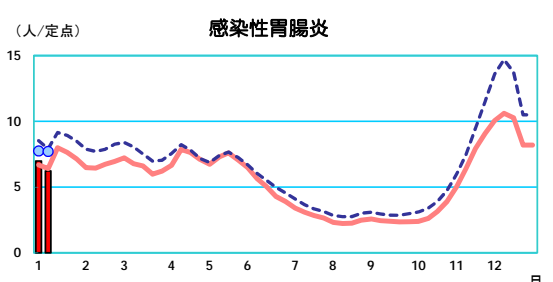
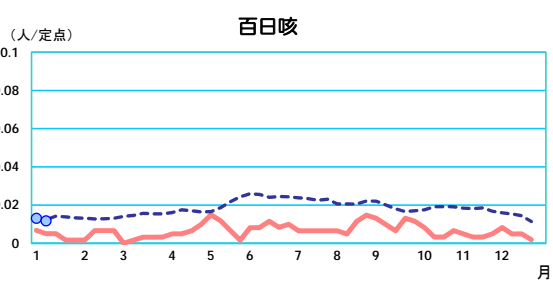
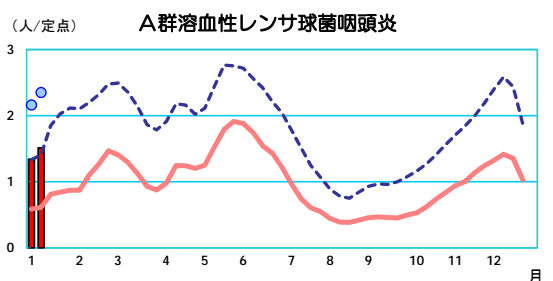
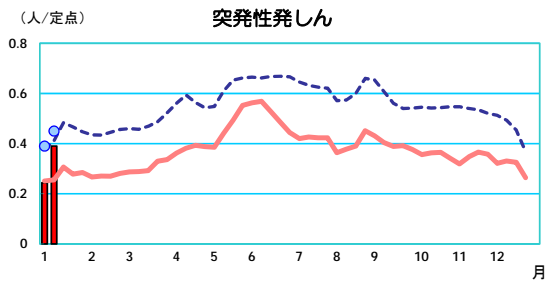
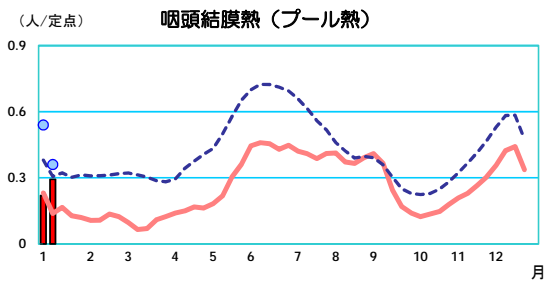
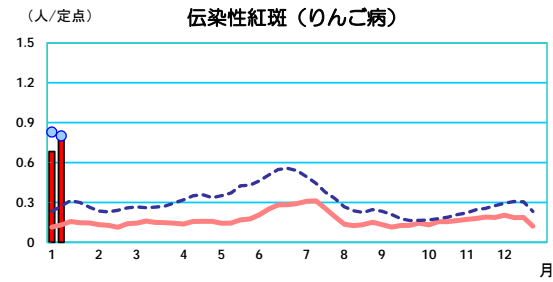
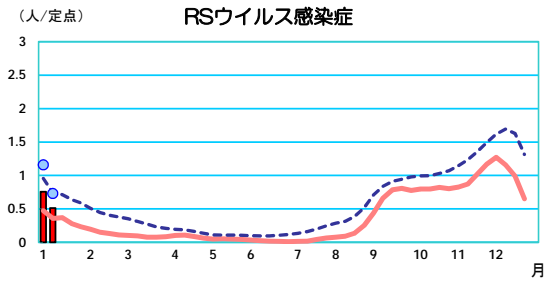
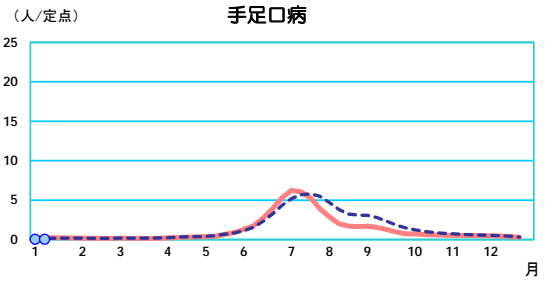
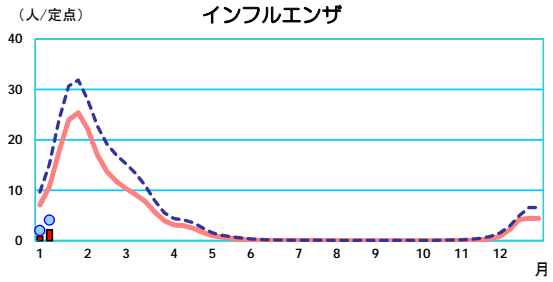
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年1月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第2週(1月11日～1月17日)トピックス: <インフルエンザ>

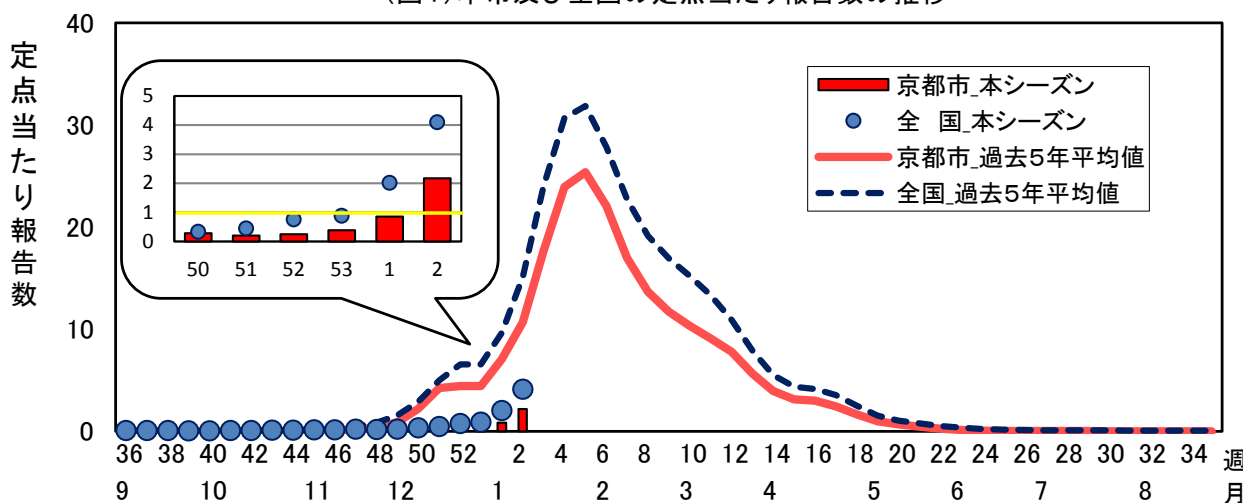
インフルエンザの定点当たり報告数は2.18(148例)となり、流行の指標である1.00を上回り、前週 0.85(58例)に比べ約2.6倍に増加しました(図1)。過去5シーズンと比較すると、今シーズンは最も遅い流行期入りとなりました(表1)。全国においては、すでに第1週(1月4日～1月10日)に1.00を越えて流行期に入っていました。今週は高知県以外の46の都道府県で1.00を上回りました(図2)。

京都市の過去5シーズンのデータを見ると、定点当たり報告数が1.00を超えたのち、4～6週間で流行ピークを迎えることが多いのですが、昨シーズンのようにわずか3週間で流行ピークに至ることがあります(表1)。今後、急速に増加することも予想されますので、発生動向に注意してください。

インフルエンザは、例年、1月～2月頃に流行のピークを迎えます。感染をひろげないために、以下のことを心がけてください。

- ①手洗いが最も大切です。特に外出後や食事の前、トイレの使用後などはしっかり手洗いをしましょう。
- ②ウイルスを寄せ付けないように、不要不急のときは、人混みや繁華街への外出をなるべく控えましょう。
- ③せき・くしゃみなどの症状があるときは、マスクをしましょう(せきやくしゃみなどで、ウイルスが2～3m飛ぶと言われています。)
- ④マスクがないときは、なるべく周りの人から顔を背け、ティッシュやハンカチなどで、口と鼻を覆いましょう。汚れたティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。せきやくしゃみなどを手で押さえたときは、すぐに手を洗いましょう。

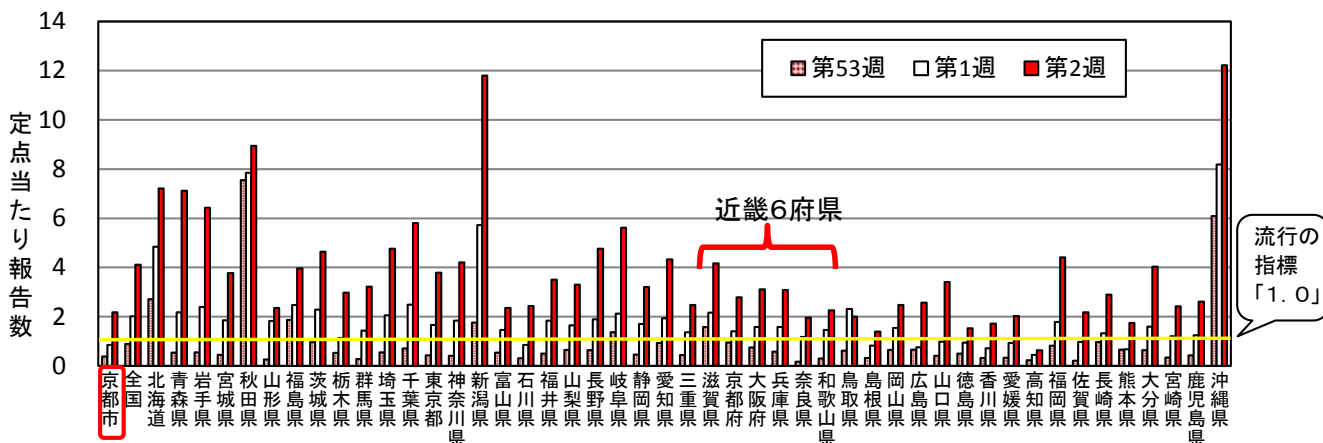
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(表1)過去5シーズンの定点当たり報告数1.00超の週からピークまでの期間

シーズン	H22/H23	H23/H24	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28
1.00超の週	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週	第2週
ピークの週	第4週	第5週	第5週	第5週	第52週	
ピーク時定点当たり報告数	20.73	38.89	31.22	37.19	28.63	
1.00超～ピークの期間	6週間	6週間	4週間	5週間	3週間	

(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第2週

疾病,行政区別報告数

平成28年1月11日～平成28年1月17日

データ入手日:平成28年1月20日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	21	-	-	-	9	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
上京	10	4	-	2	9	2	-	3	1	-	-	-	-	-						
左京	20	2	1	4	37	1	-	2	1	-	-	7	-	-						
中京	20	-	-	2	27	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	2	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	7	-	-	7	5	3	-	1	1	-	-	1	-	1						
下京	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-						
南	14	-	-	3	13	2	-	3	-	-	1	-	-	-						
右京	15	5	7	7	35	2	-	5	2	-	-	2	-	4						
伏見	19	8	2	28	60	2	-	10	8	-	-	13	-	-						
西京	13	-	2	5	45	2	1	3	2	-	2	-	-	-						
京都市計	148	21	12	62	255	15	1	33	16	-	3	25	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	3.00	-	-	-	2.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
上京	2.00	1.33	-	0.67	3.00	0.67	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-						
左京	2.86	0.50	0.25	1.00	9.25	0.25	-	0.50	0.25	-	-	1.75	-	-						
中京	4.00	-	-	0.67	9.00	-	-	1.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	1.00	-	1.00	7.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	1.00	-	-	1.75	1.25	0.75	-	0.25	0.25	-	-	0.25	-	1.00						
下京	-	-	-	1.00	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
南	2.80	-	-	1.00	4.33	0.67	-	1.00	-	-	0.33	-	-	-						
右京	1.88	1.00	1.40	1.40	7.00	0.40	-	1.00	0.40	-	-	0.40	-	4.00						
伏見	1.73	1.14	0.29	4.00	8.57	0.29	-	1.43	1.14	-	-	1.86	-	-						
西京	1.86	-	0.50	1.25	11.25	0.50	0.25	0.75	0.50	-	0.50	-	-	-						
京都市計	2.18	0.51	0.29	1.51	6.22	0.37	0.02	0.80	0.39	-	0.07	0.61	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年1月11日～平成28年1月17日

データ入手日:平成28年1月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	148	-	2	3	4	6	4	9	6	3	6	4	13	15	18	18	21	9	4	1	2
RSウイルス感染症		21	7	6	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		12	-	-	4	3	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		62	-	-	3	3	5	6	9	10	4	5	3	5	-	9	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		255	2	20	50	32	21	14	16	13	10	10	9	27	7	24	-	-	-	-	-	-
水痘		15	-	1	2	2	-	2	-	2	1	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		33	-	-	2	1	3	9	5	6	2	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	6	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		25	-	-	-	-	2	4	4	4	4	1	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2.18	-	0.03	0.04	0.06	0.09	0.06	0.13	0.09	0.04	0.09	0.06	0.19	0.22	0.26	0.26	0.31	0.13	0.06	0.01	0.03
RSウイルス感染症		0.51	0.17	0.15	0.02	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.29	-	-	0.10	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.51	-	-	0.07	0.07	0.12	0.15	0.22	0.24	0.10	0.12	0.07	0.12	-	0.22	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.22	0.05	0.49	1.22	0.78	0.51	0.34	0.39	0.32	0.24	0.24	0.22	0.66	0.17	0.59	-	-	-	-	-	-
水痘		0.37	-	0.02	0.05	0.05	-	0.05	-	0.05	0.02	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.80	-	-	0.05	0.02	0.07	0.22	0.12	0.15	0.05	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.39	-	0.15	0.22	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.61	-	-	-	-	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.02	0.02	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.30	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年1月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	19	14	17	26	58	148
RSウイルス感染症	119	73	51	29	31	21
咽頭結膜熱	15	14	15	3	9	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	78	78	17	55	62
感染性胃腸炎	350	372	328	119	286	255
水痘	26	25	37	10	31	15
手足口病	3	2	5	-	2	1
伝染性紅斑	34	17	29	3	28	33
突発性発しん	13	17	10	6	10	16
百日咳	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	2	5	2	-	3
流行性耳下腺炎	16	22	20	6	29	25
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	4	6	-	3	5
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	673	640	601	221	542	596

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.28	0.21	0.25	0.38	0.85	2.18
RSウイルス感染症	2.90	1.78	1.24	0.71	0.76	0.51
咽頭結膜熱	0.37	0.34	0.37	0.07	0.22	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63	1.90	1.90	0.41	1.34	1.51
感染性胃腸炎	8.54	9.07	8.00	2.90	6.98	6.22
水痘	0.63	0.61	0.90	0.24	0.76	0.37
手足口病	0.07	0.05	0.12	-	0.05	0.02
伝染性紅斑	0.83	0.41	0.71	0.07	0.68	0.80
突発性発しん	0.32	0.41	0.24	0.15	0.24	0.39
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.12	0.05	0.12	0.05	-	0.07
流行性耳下腺炎	0.39	0.54	0.49	0.15	0.71	0.61
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.40	0.60	-	0.30	0.50
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	16.61	15.78	14.95	5.14	12.88	13.48

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。